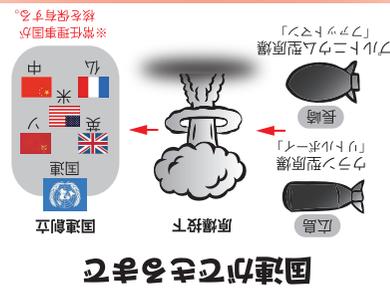


真の平和がみえてくるとはならない。戦争を起す人々の存在を知ることから、過去の事例からみても、又メディアの煽動にはラジオ放送は864回の虚偽報道をしています。NHKも太平洋戦争時、戦意高揚のためは卑劣な人殺しであり、国際銀行家のビジネス、他なりません。いかなる高なる理由であれ、戦争その真意は、国連を支配する国際銀行家の方針にイランや朝鮮などが国連で非難されています。



なぜ戦争はなくなるしないだろう？ ①
 国連の制定したPT (核拡散防止条約) は核軍縮を目的としながらも、常任理事国の核武装を正当化し、非常任理事国の核保有を牽制・非難するために機能している。

第二次大戦は1945年、広島・長崎への原爆投下を経て、終結しました。同年、戦勝国が中心となり、国際平和維持のため、国際連合が発足。しかし、原爆製造(マンハッタン計画)の資金提供も、国際連合の資金提供も、同じ国際銀行家の手にあり、敵であるはずのナチスドイツを陰で支援し、第二次大戦を演出してしまいました。投資家である国際銀行家にとって敵・味方の区別はありません。どちらが勝っても確実に儲かる戦争は、国際銀行家にとって最高の意味のあるビジネスなのです。



なぜ戦争はなくなるしないだろう？ ②
 シュウヘイ大統領の祖父、アリスコット・マッシュは、社長を務めるアメリカの銀行(ユニオン・バンク・オブ・コネチカット)から、ナチスに資金を貸した。

第一次大戦に敗北し、賠償金に苦しむドイツを復興させたのは、英米の国際銀行家の資金です。つまり、敵であるはずのナチスドイツを陰で支援し、第二次大戦を演出してしまいました。投資家である国際銀行家にとって敵・味方の区別はありません。どちらが勝っても確実に儲かる戦争は、国際銀行家にとって最高の意味のあるビジネスなのです。



なぜ戦争はなくなるしないだろう？ ③
 日露戦争では、大ロシアに勝利したにもかかわらず1円の賠償ももらえなかった。逆に、戦争で発生した莫大な借金の返済に、日本国民が苦しむことになった。

戊辰戦争では、明治新政府軍と旧幕府軍に分かれた。日本人同士が戦いました。両軍の背後にいたのは、国際銀行家でした。日露戦争でも、国際銀行家から融資を受けています。また、どちらの戦争においても、国際銀行家の傘下の兵器会社から武器を購入しています。戦争においては、国際銀行家だけが儲けをするのです。



THINKER QUESTION AUTHORITY

- THINKER mini book シリーズ
1. ぼくらの知らない環境問題「ケムトレイル」
 2. ぼくらの知らない薬害「子宮頸がんワクチン」
 3. ぼくらの知らない社会「お金のしくみ」
 4. ぼくらの知らない世界「戦争のしくみ」
 5. ぼくらの知らない現実「人口を減らすってホント？」

大きな問題をまに個人ができることは、ひとりでも多くの人に知ってもらうことです。「伝える」活動にご協力ください。そのツールとして、この mini book をご利用ください。当サイトより無料ダウンロードできます。

すべての考える人々へ
<http://www.thinker-japan.com>

ぼくらの知らない 世界



戦争の三大要素はこれだ



人類の歴史は「戦争の歴史」といえるほど、人々は戦い続けてきました。その原因は、国や民族、宗教間の争いとされています。しかし、それは本当でしょうか？ 実際に戦争を始めるには、大量の武器と軍隊、それらを集めるための莫大な軍資金が必要です。逆に**お金がなければ、戦争は起こせない**ということです。

なぜ戦争はなくなるしないだろう？ ①
 近年の戦争で、鍵を握っているのは莫大な財産を所有する欧州貴族やロスチャイルド財閥・ロックフェラー財閥などの**資本家や国際銀行家**である。

戦争はポロ儲けできる！



お金がないと起こせないのが戦争ですが、巨額の富を生むのも、また戦争です。武器、戦闘機、戦艦などを製造する軍需産業は莫大な利益を上げます。なかでも、戦争当事国に資金を貸付する国際銀行家は一番利益を得ます。スポンサーである彼らは政治家にも強い影響力を持つため、市民が望まない戦争が起きてしまうのです。

なぜ戦争はなくなるしないだろう？ ②
 世界有数の軍需産業を所有しているのは、**国際銀行家**。つまり、巨額のお金を、自らの所有する大企業、または傘下の企業に流し、戦争の利益を独占している！